

## 第3回三笠公園等指定管理者選考委員会 会議記録

### 概要

日 時：令和3年11月10日（水） 午後1時30分～午後4時00分

場 所：横須賀市役所消防局庁舎 3階 消防第2・3会議室  
（傍聴者控室は404・405会議室）

出席者：選考委員 ◎浦田 啓充（一般社団法人日本公園緑地協会 常務理事）  
○三浦 勝明（横須賀市環境政策部公園管理課長）  
工藤 幸久（横須賀商工会議所事務局次長兼総務渉外課長）  
山下 雅人（一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会 理事）  
増淵 敏之（法政大学大学院政策創造研究科 教授）  
高橋 学（みなと振興部港湾管理課長）  
高木 厚（文化スポーツ観光部文化振興課長）  
\*敬称略 ◎委員長 ○職務代理者  
：事務局 小野・千葉・齊藤・竹下・小林・藤平（環境政策部公園管理課）

傍聴者：19人

### 議事次第

- ・第3回三笠公園等指定管理者選考委員会開会
- ・進行について事前説明（事務局）
- ・非公開での意見交換
- ・公開での意見交換・採点・集計・採点結果発表・候補団体決定

### 第3回三笠公園等指定管理者選考委員会 開会

（非公開部分）

- ・本委員会の委員数は7名であり、指定管理者選考委員会等条例の第4条の規定による定足数の半数以上の出席があることから、本委員会の成立を確認。
- ・財務状況や個別のノウハウ、その他公表することで申請団体が不利益をこうむる可能性がある内容についての審議。

- ・提案内容、仮採点結果、各委員のコメント一覧表の内容についての意見交換。
- ・指定管理選考方法について、事務局より総務部総務課への確認事項や注意事項について説明。

－傍聴者入場（19名）－

（公開部分）

・公開での意見交換・採点・集計・総合評価

（作業手順説明）

- (1) 意見交換（不開示情報を除く）
- (2) 採点
- (3) 各委員から選考採点表を提出してもらい、事務局で集計
- (4) 集計の結果、最高評価点を得た団体が指定管理者候補団体として選考される。提案評価の1～4の各項目の委員全員の合計点が5点未満の場合と、最高評価点が総得点数（1,480点）の60%（888点）に達しない場合は落選とし、仮に全ての応募団体が最低基準点に満たない場合には、該当団体無しとする。
- (5) 今後について（選考結果を「答申」として横須賀市長に提出する など）、委員長より説明。

（1）意見交換

**三笠公園ほか4箇所 応募団体① パークコミュニティよこすか**

（委員）

○選考基準1 法令遵守について

- 関連する法令の遵守やスタッフへの研修実施等も提案され、標準的な内容と理解できる。

○選考基準8 施設の利活用について

- 近隣施設との連携や「音楽の溢れる公園づくり」などのテーマ設定は提案されているが、総観的であり、集客の目玉となる事業が具体的に提案されていれば良かった。

○選考基準11 教養施設及び観光ガイド施設の運営

- 代表団体が有するノウハウを最大限活用した管理運営が期待できる提案であると感じる。

○総評

- 全体的に適正な管理運営が見込まれるものであり、公園運営によるコミュニティの形成など注目すべき点もあったが、自主事業にもう少しダイナミックな提案が欲しかった。

（委員）

○選考基準2 施設管理について

- 施設課題の提示は理解しやすいとまでは言えないが、全体的に仕様書の内容は満足していると思われる。

#### ○選考基準 7 人員体制について

- 研修会や講習会などの実施に際して、階層別、個別、専門別に計画されており、仕様書の内容は満足していると思われる。

#### ○選考基準 13 指定管理料について

- 指定管理料の削減率が 0.02%となっており、特筆した内容とは言えないが、仕様書の内容は満足していると思われる。

#### ○総評

- 公募対象施設の 5 公園に近隣の猿島公園を加えた、面的な各公園の連携による地域振興は興味深いものが見られ、地域愛に満ちた提案内容であった。

#### (委員)

#### ○選考基準 2 施設管理について

- 予防保全による事故などの未然防止や公園毎の安全管理対策など適正な管理が見込まれる。
- SDGs、海洋プラスチックごみ対策アクション宣言への賛同など、積極的な環境への配慮が伺える。

#### ○選考基準 3 利用者への配慮について

- クレームなどの情報一元化と分析・共有など、具体的な再発防止策が確立されており、適正な対応が見込まれる。
- 横須賀パークコンシェルジュによるワンストップ対応など、適切な管理が見込まれる。

#### ○選考基準 10 花修景等について

- 各公園の特性に踏まえ、既存植栽を活用した花修景の創出が見込まれる。

#### ○選考基準 12 沿岸施設の防災対策について

- 海上輸送の面的防災体制の構築など、適正な防災計画が見受けられる。

#### ○総評

- 環境への配慮や横須賀パークコールセンター・パークコンシェルジュの新設による利用者の利便性向上に繋がる取り組み、ポータルサイトの構築など、時代やニーズに応じた取り組みが様々提案されており、集客力の向上が見込める提案となっている。
- 管理面においても、スタッフの資格取得の推奨や利用者への配慮が見受けられ、安心・安全な管理が見込まれる。

## (委員)

### ○選考基準 1 法令遵守について

- コンプライアンス推進会議の開催や第三者評価の実施など、法令遵守に対する対応策が具体的に提案されている点が評価できる。

### ○選考基準 6 地域貢献について

- 地元人材の積極的活用、市内中小企業への積極的発注、市内外企業との連携、公益事業の実施などについて、地域貢献に関する具体的な提案がなされている点が高く評価できる。

### ○選考基準 7 人員体制について

- 統括コーディネーターの配置や研修・各種講演会の充実は評価できる内容であるが、所長業務に関する内容について具体的な説明がなされなかったと感じた。

### ○選考基準 9 周辺施設等と連携した集客の取り組みについて

- ルートミュージアムガイドツアーの実施や10,000メートルプロムナード・軍港巡り・猿島との連携、近隣ホテルやポートマーケットとの集客連携について、幅広かつ積極的な提案がなされている点が高く評価できる。

### ○総評

- 代表企業および構成企業は、ほかの指定管理実績を鑑みると安定した施設管理・植物管理が見込まれるものと思われる。
- 猿島公園をはじめ、10,000メートルプロムナード沿いににぎわいづくりを意識した施設の利活用を計画するなど、各事業者と連携し、魅力的な集客イベントを提案しているが、若干、具体性や実現性に欠ける印象を受けた。

## (委員)

### ○選考基準 3 利用者への配慮について

- コールセンター・コンシェルジュの配置により、市内観光の手配と周遊促進をワンストップ対応で実施する点が評価できる。

### ○選考基準 5 障害者及び男女共同参画への配慮について

- 雇用状況や発注実績が具体的に明示されていることや、関係団体から関心表明書を受領し提案の実現性が担保されている点が評価できます。

### ○選考基準 10 花修景等について

- ヴェルニー公園のバラ管理に関して、専門家を配置するなど魅力的な提案がなされているが、三笠公園やうみかぜ公園に関しては花修景の明確なコンセプトを示してもらえるとよかった。

## ○選考基準 12 沿岸施設の防災対策について

- 各公園の津波からの避難誘導が市の計画に沿っている点、若手人材の育成に取り組む姿勢は高く評価できます。なお、津波以外の自然災害への対策についても提案がなされていればより良いものでありました。

## ○総評

- 地域の現状と市の施策を踏まえた内容であり、プレゼンテーションでも地元への強い思いが感じられた点が評価できる。
- 公募対象施設である5公園に猿島公園を加えて面で捉えるコンセプトは市の施策であるルートミュージアムの考えとも合致するものであるが、三笠公園をはじめとする各公園について、期間限定であっても各公園が主役になれるような設備投資やイベントの提案がさらになされていれば良かったものと感じる。

## (委員)

## ○選考基準 4 リスクへの対応について

- 公園ごとの現状を把握したうえでリスク対応を検討するなど、緻密な取り組みが提案されている点や緊急時の対応体制が明確にされていることで実効性が高い提案がなされている点が評価できる。
- 利用者への協力要請なども組み込まれており、公園一体となった体制が十分に検討されていると評価する。

## ○選考基準 5 障害者及び男女共同参画への配慮について

- 基礎的、基本的な取り組みが実践されている点が評価できる。

## ○選考基準 11 教養施設及び観光ガイダンス施設の運営について

- ルートミュージアムの理解が深く、「軍港めぐり」で培ったノウハウをティボディエ邸でのガイダンスに反映させることが大きく期待できる。
- 歴史体験ツアーや教育旅行の受け入れなど、教養施設としての活用や横須賀の歴史的な魅力の発信が大いに期待できる。

## ○選考基準 13 指定管理料について

- 直営スタッフによる外注費用の削減、日常点検の実施などの予防保全による経費の削減が提案されている点が評価できる。

## ○総評

- 横須賀および公募対象施設である5公園の地域特性をよく理解し、地域への親和性が感じられる提案であり、公園管理の側面だけでなく観光施策や教育施策といったソフト面への配慮などを評価する。
- ヴェルニー公園の運営においては「軍港めぐり」との連携など強みが認められ、ティボディエ邸の

アテンダントの新たな活用など、ルートミュージアムの新たな展開による街の活性化が高く期待できる提案であった。

#### (委員)

##### ○選考基準4 リスクへの対応について

- 公園ごとのリスク状況などが整理され、緊急時における適切な体制の確保が見込まれる。

##### ○選考基準6 地域貢献について

- 地元企業や団体が指定管理者構成団体となっているため、地元の様々な分野の企業・団体との連携が期待できる。

##### ○選考基準8 施設の利活用について

- 四季を通じた様々なイベントが計画されているが、集客などの観点から全体的にやや魅力に欠ける内容と感じた。

##### ○選考基準9 周辺施設と連携した集客の取り組みについて

- ルートミュージアムやガイドツアーの計画など、市の施策を踏まえた提案がなされている点が評価できる。

##### ○総評

- 周辺施設などと連携した集客の取り組みは高く評価できるが、一方で、人員体制などについては課題が残る内容と感じた。

### **三笠公園ほか4箇所 応募団体② よこすか seaside パートナーズ**

#### (委員)

##### ○選考基準6 地域貢献について

- 特筆すべき提案内容が見受けられなかったため、地域との距離感が具体的にうまく掴めない印象であった。

##### ○選考基準11 教養施設及び観光ガイド施設の運営について

- 市外県外の公園とのコラボレーション企画を計画するなど、特徴がある提案内容で非常に好感の持てるものであった。

##### ○総評

- パンデミック等諸条件の変化も視野に入れていかなければならないが、全体を通して魅力的な提案がなされていたため、その実効性に期待したい。

## (委員)

### ○選考基準 1 法令遵守について

- 外部講師を含めた年1回以上の定期的な法令研修、マニュアルの作成など、仕様書の内容を満足していると考ええる。

### ○選考基準 4 リスクへの対応について

- 定期巡回による事故・犯罪等の防止、巡回時には「要所点検マップ（ハザードマップ）」を持参、救命救急講習の受講とAEDの整備、フィンガーチェックの実施などの提案されている点が評価できる。

### ○選考基準 5 障害者及び男女共同参画への配慮について

- 多様な働き方、ダイバーシティの推進などの提案がなされている点が評価できる。

### ○選考基準 12 沿岸施設の防災対策について

- 安全対策指針や水難事故に対する提案があり、仕様書の内容は満足していると思われる。

### ○総評

- 仕様書に沿った事業計画となっており非常に理解しやすい提案内容だと感じた。特に、施設の利活用において、音楽・エンターテイメントによる話題性と継続的に集客するなどを考えたイベントは興味がわくものであった。
- 地元との連携などがより一層感じられれば、提案としては申し分ないものであると考える。

## (委員)

### ○選考基準 3 利用者への配慮について

- 利用者の声を活かした配慮対策や新しい生活スタイルへの対応、Web アクセシビリティへの対応などの利便性向上策が見受けられる。

### ○選考基準 8 施設の利活用について

- ワークেশョンの提案や各公園のイベント提案、環境に配慮したイベント企画など、様々な利用者のサービス向上が提案されている点が評価できる。

### ○選考基準 9 周辺施設等と連携した集客の取り組みについて

- 様々な施設との連携が提案され、シティポップイベントや謎解きイベントなど、各地で人気のある企画がなされており、新規顧客の集客が見込まれる。

### ○選考基準 13 指定管理料について

- 適正な指定管理料が提示され、一定の効果が見込める。

## ○総評

- 代表企業によるこれまでの管理実績のもと、健全な管理運営が見込まれる。
- YOKOSUKA パークワーケーション構想の提案や、各世代層に向けたイベント提案、公園ごとの花修景など、市民も楽しめる様々な提案がなされており、集客促進が見込まれる。

## (委員)

### ○選考基準 3 利用者への配慮について

- 利用者の声について、意見内容の把握から対応完了までをデータベース化するとともに、回答や対応状況を利用者にフィードバックする仕組みを構築している点が評価できる。

### ○選考基準 7 人員体制について

- 統括所長を配置するとともに、各公園所長は担当公園以外の運営状況を共有することで、業務品質の向上と効率化を図っている点が評価できる。
- 正社員だけでなく、パートを含めた全従業員に対して、多様なきめ細かい人材育成計画が提案されている。

### ○選考基準 8 施設の利活用について

- 各公園の特性を十分に理解し、公園ごとのコンセプトを明確にして管理方針を提案しているとともに、魅力がある新規事業についても具体的な提案がなされているため、集客力の向上に期待が持てる。

### ○選考基準 10 花修景等について

- 10,000 メートルプロムナードを意識した5公園共通の花の植え付けや、四季折々の魅力ある花修景を提案している点が評価できる。
- 代表団体がこれまで地元活力を積極的に活用して取り組んできた公園ボランティアについても「参加機会の見える化」を図り、さらにPRを図る提案がなされている点についても評価できる。

## ○総評

- 代表企業は市内外の公共施設をはじめ、数多くの管理運営実績を有しており安定した施設管理、植物管理が期待できる。また、構成企業についても、それぞれの得意分野を最大限に活かした事業展開が期待できる。
- 魅力的で具体性を持った新規事業が数多く提案されていることや新たなサービスを提供するための施設改修、インパクトのある景観を創出するための花修景など、公園利用者の満足度向上に資する積極的な提案がなされていると感じた。

## (委員)

### ○選考基準 2 施設管理について

- 海洋プラスチック問題への取り組みとして、ビーチクリーン活動とゴミ回収装置の設置が具体的に



提案されており、海をキレイにしていこうとする姿勢が伺える。

#### ○選考基準 6 地域貢献について

- 地元人材の雇用や市内企業などへの発注について、より具体的な取り組みの提案があれば良かったと感じた。

#### ○選考基準 10 花修景等について

- ボランティア参加者の満足度を意識した取り組みや季節花壇により景色の繋がりを作る提案は、経費削減効果も含めて評価できる。

#### ○選考基準 12 沿岸施設の防災対策について

- 水難事故に対する備えが詳細に検討されていること、自主事業のバーベキューの資機材を災害時に提供する提案がなされている点は評価できる。

#### ○総評

- 各公園の特色に合わせた企画と、それに必要な資材（三笠公園の音響機材、うみかぜ公園のシャワー一等）が明記されていることで、提案内容が具体的に感じられた。
- 公募対象施設の5公園のうち、4公園は海に面しているため、市内外からの来訪者に海辺の景観や催しを楽しんでもらうことはもちろんのこと、園内を良好に管理したうえでさらに海の環境問題にも取り組もうとする姿勢を評価したい。

#### (委員)

#### ○選考基準 1 法令遵守について

- 横須賀市の代行者として、市の「コンプライアンス推進計画」に基づいた体制整備がされている。
- 代表企業が属する企業グループによって確立された「グループ企業倫理模範」に基づく取り組みには遺漏がないものと考えられる。

#### ○選考基準 4 リスクへの対応について

- リスクを回避するための防止対策から検討されているとともに、初動対応に重点を置いた被害（被災）軽減対策、各種マニュアルの整備がなされている点が評価できる。

#### ○選考基準 9 周辺施設等と連携した集客の取り組みについて

- 周辺の観光、文化施設と連携した取り組みの提案がされている。

#### ○選考基準 13 指定管理料について

- 自主事業収入の一部を管理経費に充当することで、指定管理料の削減を図っている点は評価できる。

#### ○総評

- 収支計画においては、収入を多く見込み事業規模を拡大させつつ、指定管理料の削減を実現している。
- 各種ノウハウを有する事業者により共同事業体を形成していることで、施設の利活用、花修景などのスケールメリット、全国展開から得たノウハウの発揮が期待できる。

## (委員)

### ○選考基準 2 施設管理について

- 構成企業の組み合わせや役割分担が適切であり、充実した施設管理に関する提案が多数なされている点が評価できる。

### ○選考基準 5 障害者及び男女共同参画への取り組みについて

- 現状を中心とした一般的な記述にとどまっている印象を受けた。

### ○選考基準 7 人員体制について

- 専門技術を有する有資格等が配置されるとともに、スタッフへの研修なども適切に実施される計画となっている。
- 各公園に専門的知識を有する管理責任者が配置されるなど、適切な人員体制が確保されている。

### ○選考基準 11 教養施設及び観光ガイド施設の運営について

- 旅行代理店などの活用や市外県外の施設などとの連携が提案されている点が評価できる。

### ○総評

- 四季を通じた公園ごとの特性に応じた様々なイベントや、年間を通じた魅力ある花修景が各公園に提案されていることや各公園において適切な人員体制が確保される提案がなされている点が評価できる。

(2) 各委員採点 約 20 分間

(3) 集計 約 30 分間

### (4) 確認・結果発表

①集計結果を各選考委員に配布し、誤りが無いか確認。

②委員長より下記について説明し、結果発表。

- ・指定管理者選考にあたっては最低基準点を設けており、提案評価の1～4の各項目の委員全員の合計点が5点未満の場合と、総配点(1,480点)の60%(888点)に満たない場合は、選考することができず、仮に全ての応募団体が最低基準点に満たない場合には選考しない。
- ・基礎項目評価の合計点、提案評価の1～13の項目ごとに選考委員全体の合計点、そして総合計の点数のみ発表する。

## 三笠公園等指定管理者選考 採点集計表（三笠公園ほか4箇所）

（単位：点）

区分	評価区分	配点	パークコミュニティよこすか	よこすか seaside パートナース
1	<b>基礎項目評価</b>	<b>150点</b>	<b>125</b>	<b>118</b>
2	(1)	法令遵守	70点	45
	(2)	施設管理	70点	40
	(3)	利用者への配慮	70点	55
	(4)	リスクへの対応	70点	45
	(5)	障害者及び男女共同参画への配慮	70点	50
	(6)	地域貢献	70点	45
	(7)	人員体制	70点	70
	(8)	施設の利活用（自主事業含む）	70点	35
	(9)	周辺施設等と連携した集客の取り組み	210点	105
	(10)	花修景等	210点	195
	(11)	花修景等	140点	80
	(12)	教養施設及び観光ガイド施設の運営	70点	60
	(13)	沿岸施設の防災対策	70点	45
	指定管理料	140点	70	80
	<b>提案項目評価</b>	<b>1,330点</b>	<b>895</b>	<b>965</b>
	<b>合計</b>	<b>1,480点</b>	<b>1020</b>	<b>1083</b>
	<b>順位</b>		<b>2位</b>	<b>1位</b>

※最低基準点＝基礎項目評価の65点以上及び提案評価項目(1)～(4)の各項目の選考委員合計が5点以上並びに総得点の60%以上

③委員長より下記について説明

- ・パークコミュニティよこすかの点数は1,020点、よこすか seaside パートナーズの点数は1,083点で、評価点が最も高い団体であるよこすか seaside パートナーズの点数は、最低基準点である総配点の60%（888点）をクリアしている。
- ・本委員会として、令和4年4月からの三笠公園ほか4箇所指定管理者の候補者として、よこすか seaside パートナーズを選考する。

④委員長より下記について説明。

- ・本委員会は、横須賀市長からの「諮問」を受けて選考を行っているため、今回の選考結果を「答申」として市長に提出する。最終的には、令和3年12月定例議会にて審議の後、議決を得て指定管理者として正式決定する。なお、選考結果は、後日、市議会に対し資料提出されるほか、横須賀市ホームページでも公表する。

----- 傍聴者 退場 -----

- 事務局からの連絡事項

終了

【事務担当：横須賀市 公園管理課 管理係 小野・竹下・小林 TEL046-822-9799】